

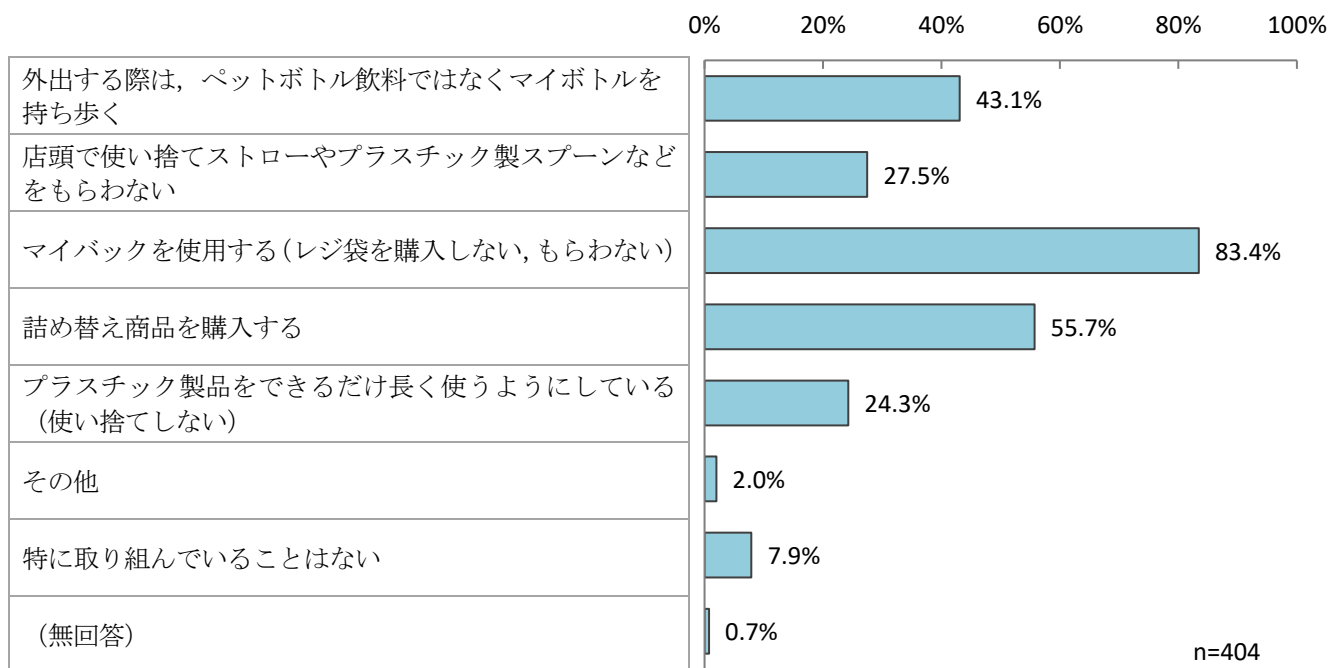
### 1 3. プラスチック製品の資源化について

#### (1) プラスチックごみを減らすための取組

◇ 「マイバックを使用する（レジ袋を購入しない、もらわない）」が8割強

問 4 4 普段プラスチックごみを減らすために取り組んでいることがあれば教えてください。		(〇はいくつでも)
		n=404
1	外出する際は、ペットボトル飲料ではなくマイボトルを持ち歩く	43.1%
2	店頭で使い捨てストローやプラスチック製スプーンなどをもらわない	27.5%
3	マイバックを使用する（レジ袋を購入しない、もらわない）	83.4%
4	詰め替え商品を購入する	55.7%
5	プラスチック製品をできるだけ長く使うようにしている（使い捨てしない）	24.3%
6	その他	2.0%
7	特に取り組んでいることはない	7.9%
	(無回答)	0.7%

<図IV-13-1>全体



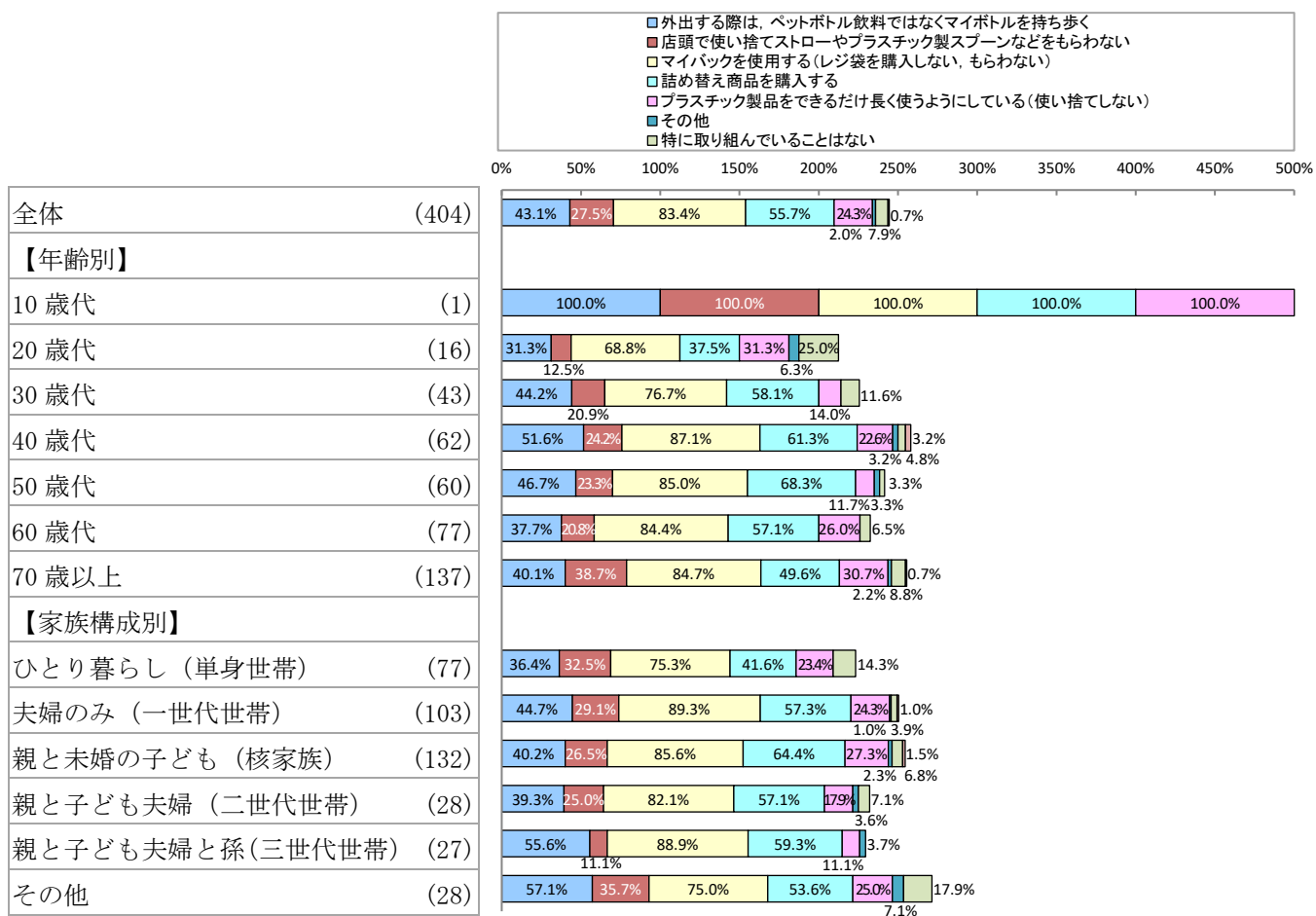
プラスチックごみを減らすための取組については、「マイバックを使用する（レジ袋を購入しない、もらわない）」が 83.4%で最も高く、次いで「詰め替え商品を購入する」が 55.7%、「外出する際は、ペットボトル飲料ではなくマイボトルを持ち歩く」が 43.1%と続いている。（図IV-13-1）

#### <参考>

年齢別でみると、「マイバックを使用する（レジ袋を購入しない、もらわない）」は<10歳代>が 100.0%、<40歳代>が 87.1%、次いで<50歳代>が 85.0%であった。「詰め替え商品を購入する」は<10歳代>が 100.0%、<50歳代>が 68.3%、次いで<40歳代>が 61.3%であった。（図IV-13-2）

家族構成別でみると、「マイバックを使用する（レジ袋を購入しない、もらわない）」は、<夫婦のみ（一世代世帯）>が 89.3%で最も高く、次いで<親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）>が 88.9%であった。「詰め替え商品を購入する」は、<その他>を除くと、<親と子ども夫婦と孫（三世代世帯）>が 64.4%で最も高く、次いで<夫婦のみ（一世代世帯）>が 59.3%であった。（図IV-13-2）

<図IV-13-2> 年齢別／家族構成別



(2) 「プラスチック製容器包装」と「プラスチック製品」の排出方法の違いの認知度

◇ 「知っている」が5割強

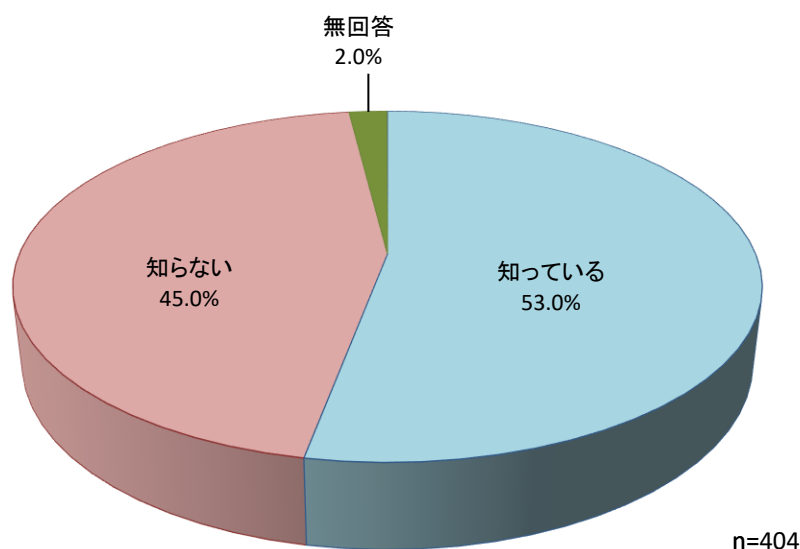
問45 本市では、弁当容器などの「プラスチック製容器包装」を資源物として収集しており、プラスチック製バケツ、スプーン、歯ブラシなどの「プラスチック製品」は焼却ごみとして収集しています。「プラスチック製容器包装」と「プラスチック製品」の排出方法の違いを知っていますか。

(○は1つ)

n=404

1	知っている	53.0%
2	知らない	45.0%
	(無回答)	2.0%

<図IV-13-3>全体



「プラスチック製容器包装」と「プラスチック製品」の排出方法の違いを知っているかについては、「知っている」が53.0%で最も高かった。一方、「知らない」は45.0%であった。(図IV-13-3)

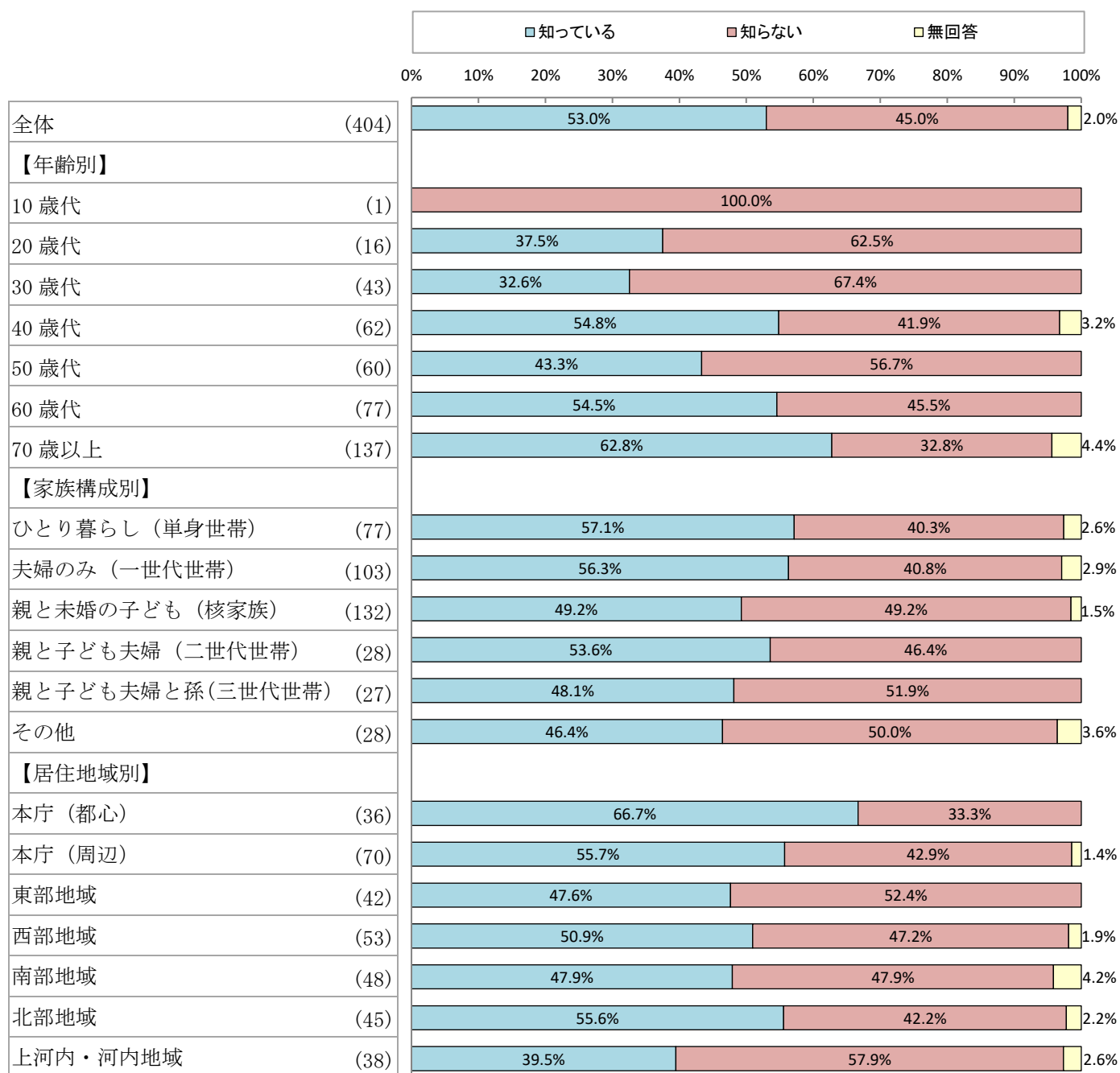
<参考>

年齢別で見ると、「知っている」は<70歳以上>が62.8%で最も高く、次いで<40歳代>が54.8%であった。「知らない」は<10歳代>が100.0%、<30歳代>が67.4%であった。(図IV-13-4)

家族構成別で見ると、「知っている」は、<ひとり暮らし(単身世帯)>が57.1%で最も高く、次いで<夫婦のみ(一世代世帯)>が56.3%であった。「知らない」は、<その他>を除くと、<親と子ども夫婦と孫(三世代世帯)>が51.9%で最も高く、次いで<親と未婚の子ども(核家族)>が49.2%であった。(図IV-13-4)

居住地域別で見ると、「知っている」は、<本庁(都心)>が66.7%で最も高く、次いで<本庁(周辺)>が55.7%であった。「知らない」は<上河内・河内地域>が57.9%で最も高く、次いで<東部地域>が52.4%であった。(図IV-13-4)

<図IV-13-4>年齢別／家族構成別／居住地域別

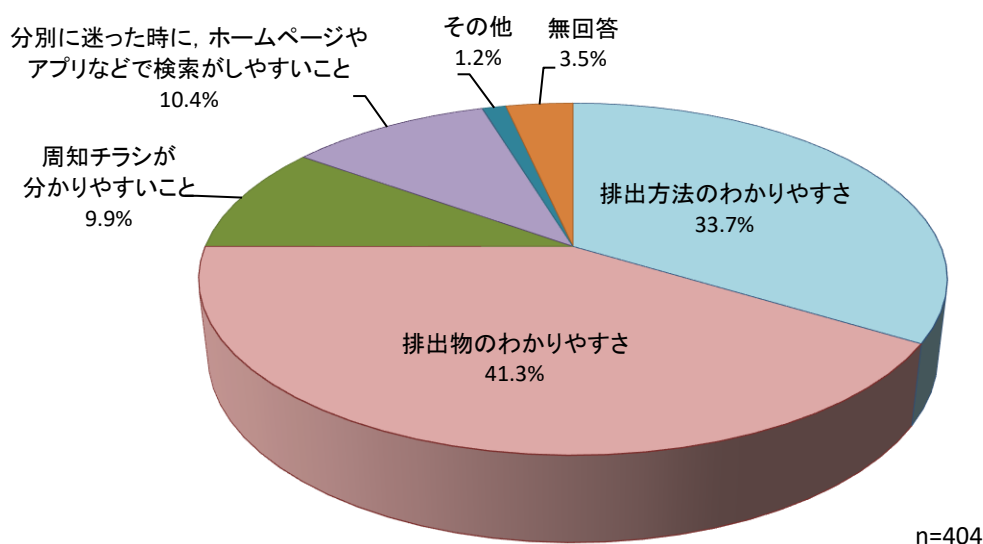


(3) プラスチック製品も資源物として収集する場合、分別に協力しやすい手法

◇ 「どのプラスチック製品が分別対象なのか分かりやすく明確であること（排出物のわかりやすさ）」が約4割

問46	プラスチック製品も資源物として収集する場合、どんな手法だと分別に協力しやすいですか。もっとも必要だと思う項目を1つ選んでください。(○は1つ)	n=404
1	プラスチック製容器包装と一緒にゴミ袋に入れられるなど排出方法が簡単であること（排出方法のわかりやすさ）	33.7%
2	どのプラスチック製品が分別対象なのか分かりやすく明確であること（排出物のわかりやすさ）	41.3%
3	周知チラシが分かりやすいこと	9.9%
4	分別に迷った時に、ホームページやアプリなどで検索がしやすいこと	10.4%
5	その他 (無回答)	1.2% 3.5%

<図IV-13-5>全体



プラスチック製品も資源物として収集する場合、分別に協力しやすい手法については、「どのプラスチック製品が分別対象なのか分かりやすく明確であること（排出物のわかりやすさ）」が41.3%で最も高く、次いで「プラスチック製容器包装と一緒にゴミ袋に入れられるなど排出方法が簡単であること（排出方法のわかりやすさ）」が33.7%であった。（図IV-13-5）

<参考>

年齢別でみると、「どのプラスチック製品が分別対象なのか分かりやすく明確であること（排出物のわかりやすさ）」は<60歳代>が51.9%で最も高く、「プラスチック製容器包装と一緒にゴミ袋に入れられるなど排出方法が簡単であること（排出方法のわかりやすさ）」は<20歳代>が56.3%で最も高かった。（図IV-13-6）

家族構成別でみると、「どのプラスチック製品が分別対象なのか分かりやすく明確であること（排出物のわかりやすさ）」は、<その他>を除くと、<夫婦のみ（一世代世帯）>が49.5%で最も高く、「プラスチック製容器包装と一緒にゴミ袋に入れられるなど排出方法が簡単であること（排出方法のわかりやすさ）」は<親と未婚の子ども（核家族）>が41.7%で最も高かった。（図IV-13-6）

居住地域別でみると、「どのプラスチック製品が分別対象なのか分かりやすく明確であること（排出物のわかりやすさ）」は、<北部地域>が46.7%で最も高く、「プラスチック製容器包装と一緒にゴミ袋に入れられるなど排出方法が簡単であること（排出方法のわかりやすさ）」は<南部地域>が43.8%で最も高かった。（図IV-13-6）

<図IV-13-6>年齢別／家族構成別／居住地域別

